

国語 1 学年

はじめに

「国語をなぜ勉強するの。」と一度は思ったことがありますか？国語はあなたの全ての生活、人生にとっても深くかかわっています。例えば、今あなたが思っていることを誰かに伝える時、どのように伝えますか？簡単なことなら相手にもたやすく理解してもらえますでしょう。けれども、少し複雑な思いになるとどうですか？相手にわかりやすく伝えることができますか？国語はそのような表現力を養い、読解力を養い、そしてそれらの基礎となる言語力を養います。

年間計画

| 単元名 | 教材名 | 学習目標 |
|-----------------------------------|--------------------------|---|
| 言語文化にふれる | 声に出して、さまざまな作品を読もう（詩） | さまざまな詩に触れて、音読をする。 |
| 的確に読み解く | 空中ブランコ乗りのキキ | 場面の展開や登場人物に注意して読む。 |
| 言語文化にふれる | 声に出して、さまざまな作品を読もう（俳句） | さまざまな俳句に触れて、創作する。 |
| 的確に読み解く | ユニバーサルな心を目指して | 言葉の意味を捉えながら筆者の考えを読み取る。 |
| 文法…「文法教室」の「言葉の単位」、「文の組み立て」（独立語まで） | | |
| 的確に表す | 一枚レポートを書こう | 集めた材料を分類・整理して、文章の構成を考える。 調べたことについて、根拠を明確にした文章を書く。 |
| 文法…「文法教室」の「文をつなぐ言葉」（接続する語句） | | |
| ともにわかり合う | この小さな地球の上で | 自分のものの見方・考え方を広げるために読む。 |
| 言語文化にふれる | 竹取物語 | 古典特有のリズムを味わいながら古典の世界にふれる。 |
| さまざまな見方・考え方を知る | 「故事成語」を使って書こう | 題材の用い方について感想を交流する。 |
| 判断して説明する | 詩三編 夕焼け いるか 雨ニモマケズ | 詩の内容を理解し、表現の特徴について自分の考えをもつ。 |
| 文法…「文法教室」の「文の組み立て」（連文節～文の成分） | | |
| 自分を見つめる | 少年の日の思い出 | 構成に注意して読み、人物の生き方について考える。 展開を読み取り、人物の心情の移り変わりをとらえる。 |
| 言葉の感覚を磨く | 食感のオノマトペ | 数値やグラフから読み取った情報を手がかりに文章を読み進める。 |

* 書写についても、必要に応じて行います。

* 漢字・語句については「漢字ノート」を使用します。

教科の先生からのアドバイス

〈授業の受け方〉

教科書やノートなどの準備物を忘れず、集中して意欲的に授業に取り組みましょう。私語はもちろん厳禁です。黒板に書かれた内容だけではなく、聞いたことや感じたこと、考えたことなどもメモするといいいでしょう。「この文章で言いたいことは」「作者の考えは」「この語句の意味は」など、いつも頭を働かせて自分からすすんで授業を受けることが大切です。

まずは文章をスラスラ読めるようになってください。そして、文章の内容について理解し、自分の考えや意見を持ちましょう。それをまとめたり発表したりしながら深めていくことが大切です。

〈家庭学習の仕方〉

「家庭学習」では「復習」に力を入れ、習ったところを音読し、ノートにまとめ直してみましよう。漢字については漢字ノートで覚えながら書くなどして、充分活用しましょう。予習では、しっかり教科書を読んでおきましょう。また、提出物は期限を守り、丁寧に仕上げるのが大事です。

さらに、国語力を確実に身につけていくためにも、できるだけ多くの文章を読み、親しみましよう。小説や物語だけでなく、説明文も読みましよう。新聞（特にコラム。朝日新聞であれば、「天声人語」、毎日新聞であれば「余録」など）を読む習慣をつけるといいでしょう。

〈評価について〉

「はじめに」にあるように、国語では表現力や読解力、言語力を養いますが、学習内容は「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」という領域で構成されています。そしてそれぞれの領域について「関心・意欲・態度」を含め、五つの観点で次のような資料で評価を行います。

- ① ・授業中の態度（集中度、発表への積極性など）
 - ・国語に対する関心・意欲
 - ・提出物、学習準備物、ノートの内容
- ② ・授業・テストなどによる話す力と聞く力（発表、スピーチ、発言、朗読、聞き取りなど）
- ③ ・作文、定期テスト、授業ノートにおける表現力
- ④ ・授業における理解力
 - ・定期テストの読解分野での理解度
- ⑤ ・授業中における言語事項に関する理解度・知識
 - ・定期テスト（小テスト）の漢字・文法分野での達成度

おわりに

以上の内容以外に、もしわからない点や疑問に思う点などがあれば、ぜひあなたの身近にいる国語の先生に尋ねてみてください。「雨垂れ石をうがつ」といいますが、テストの結果に「一喜一憂」せず、粘り強い努力を続けていってください。ではいっしょに頑張りましょう！！

国語 2 学年

はじめに

「国語をなぜ勉強するの。」と一度は思ったことがありますか？国語はあなたの全ての生活、人生にとっても深くかかわっています。例えば、今あなたが思っていることを誰かに伝える時、どのように伝えますか？簡単なことなら相手にもたやすく理解してもらえますでしょう。けれども、少し複雑な思いになるとどうですか？相手にわかりやすく伝えることができますか？国語はそのような表現力を養い、読解力を養い、そしてそれらの基礎となる言語力を養います。

年間計画

| 単元名 | 教材名 | 学習目標 |
|-----------------------------|---------------|-----------------------------|
| 言語文化を楽しむ | 枕草子 | 古典に表れたものの見方や考え方にふれる。 |
| 論理的に考える | 信頼をつなぐ | 説明の仕方について考えながら読む。 |
| 判断して説明する | 短歌の世界 | 語句の意味や用い方に注意して、作品世界を味わう。 |
| 文法…「文法教室」の「用言」「動詞・形容詞・形容動詞」 | | |
| 的確に読み解く | 走れメロス | 登場人物の生き方などについて、自分の考えや意見をもつ。 |
| わかりやすく述べる | 壁に残された伝言 | 筆者の思いがどのように書かれているかを読み取る。 |
| 的確に読み解く | 日本人はアリスと同類だった | 自分のものの見方や考え方と比べながら読む。 |
| 言語文化を楽しむ | 徒然草 | 登場人物や筆者の思いなどを想像する。 |
| 的確に読み解く | 熟語の構成 | 言葉や漢字についての理解を深める。 |
| 文法…「文法教室」の「体言・用言以外の自立語」 | | |
| ともにわかり合う | 小さな手袋 | 文体や描写の表現校歌について考える。 |
| さまざまな見方・考え方を知る | 平家物語 | 描かれた場面を想像し、登場人物の生き方について考える。 |
| 言語文化を楽しむ | 漢詩の世界 | 古典の世界を楽しむ。 |
| 多角的に考える | 蒼い道 | 登場人物の心情の変化を読み取る。 |
| さまざまな見方・考え方を知る | 詩二編 | 構成や展開、描写の特徴を読み取る。 |
| さまざまな見方・考え方を知る | さまざまな熟語 | 漢字についての理解を深める。 |
| 言葉の感覚を磨く | 日本語のメガネのかけ替え | ものの見方やとらえ方の違いについて考えながら読む。 |

※書写についても、必要に応じて行います。
 ※漢字・語句については「単元別漢字」を使用します。

教科の先生からのアドバイス

〈授業の受け方〉

教科書やノートなどの準備物を忘れず、集中して意欲的に授業に取り組みましょう。私語はもちろん厳禁です。黒板に書かれた内容だけではなく、聞いたことや感じたこと、考えたことなどもメモするといいいでしょう。「この文章で言いたいことは」「作者の考えは」「この語句の意味は」など、いつも頭を働かせて自分からすすんで授業を受けることが大切です。

まずは文章をスラスラ読めるようになってください。そして、文章の内容について理解し、自分の考えや意見を持ちましょう。それをまとめたり発表したりしながら深めていくことが大切です。

〈家庭学習の仕方〉

「家庭学習」では「復習」に力を入れ、習ったところを音読し、ノートにまとめ直してみましょう。漢字については漢字ノートで覚えながら書くなどして、充分活用しましょう。予習では、しっかり教科書を読んでおきましょう。また、提出物は期限を守り、丁寧に仕上げるのが大事です。さらに、国語力を確実に身につけていくためにも、できるだけ多くの文章を読み、親しみましょう。小説や物語だけでなく、説明文も読みましょう。新聞（特にコラム。朝日新聞であれば、「天声人語」、毎日新聞であれば「余録」など）を読む習慣をつけるといいでしょう。

〈評価について〉

「はじめに」にあるように、国語では表現力や読解力、言語力を養いますが、学習内容は「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」という領域で構成されています。そしてそれぞれの領域について「関心・意欲・態度」を含め、五つの観点で次のような資料で評価を行います。

- ① ・業中の態度（集中度、発表への積極性など）
 - ・国語に対する関心・意欲
 - ・提出物、学習準備物、ノートの内容
- ② ・授業・テストなどによる話す力と聞く力（発表、スピーチ、発言、朗読、聞き取りなど）
- ③ ・作文、定期テスト、授業ノートにおける表現力
- ④ ・授業における理解力
 - ・定期テストの読解分野での理解度
- ⑤ ・授業中における言語事項に関する理解度・知識
 - ・定期テスト（小テスト）の漢字・文法分野での達成度

おわりに

以上の内容以外に、もしわからない点や疑問に思う点などがあれば、ぜひあなたの身近にいる国語の先生に尋ねてみてください。「雨垂れ石をうがつ」といいますが、テストの結果に「一喜一憂」せず、粘り強い努力を続けていってください。ではいっしょに頑張りましょう！！

国語 3 学年

はじめに

「国語をなぜ勉強するの。」と一度は思ったことがありますか？国語はあなたの全ての生活、人生にとっても深くかかわっています。例えば、今あなたが思っていることを誰かに伝える時、どのように伝えますか？簡単なことなら相手にもたやすく理解してもらえますでしょう。けれども、少し複雑な思いになるとどうですか？相手にわかりやすく伝えることができますか？国語はそのような表現力を養い、読解力を養い、そしてそれらの基礎となる言語力を養います。

年間計画

| 単元名 | 教材名 | 学習目標 |
|------------------------------------|-----------------------|---|
| 言語文化に親しむ | おくのほそ道 | ○歴史的背景を考えながら古文を読み、古典の世界に親しむ。 ○冒頭を暗唱することができる。 |
| 「修学旅行新聞」を作る…クラスで発表・報告をする。 | | |
| 判断して説明する | 「文殊の知恵」の時代 | 筆者の主張と、それを支える具体例との関係を考えながら読む。 |
| 文法…「文法教室」の「付属語」の「助詞」 | | |
| 判断して説明する | 俳句の世界 | 語句の意味や表現の効果を考えながら、読み味わう。 |
| | 猫 | 場面の展開にそって人物の心の動きを読み取る。 |
| 文法…「文法教室」の「文法と表現」の「敬語」、「付属語」の「助動詞」 | | |
| さまざまな見方・考え方を知る | 好きな和歌を紹介しよう | ○「三大和歌集」を読み味わう。 ○書いた文章を交流し、自分の表現に役立てる。 |
| 言語文化に親しむ | 中国の古典の言葉 | ○漢文を読み親しみ、現代とのつながりを考える。 ○漢文の一節を引用して自分の体験や考えを文章にまとめる。 |
| さまざまな見方・考え方を知る | 詩二編 初恋 うち知ってんねん | 詩を読み比べ、表現の特徴や効果を考える。 |
| ともにわかり合う | 海馬 | 説明の工夫や聞き手の役割に注目しながら対談を読み、考えたことをまとめる。 |
| 過去問題などを解き、入試に向けての仕上げを行う。 | | |

*書写についても、必要に応じて行います。

*漢字・語句については「漢字ノート」を使用します。

教科の先生からのアドバイス

〈授業の受け方〉

教科書やノートなどの準備物を忘れず、集中して意欲的に授業に取り組みましょう。私語はもちろん厳禁です。黒板に書かれた内容だけではなく、聞いたことや感じたこと、考えたことなどもメモするといいいでしょう。「この文章で言いたいことは」「作者の考えは」「この語句の意味は」など、いつも頭を働かせて自分からすすんで授業を受けることが大切です。

まずは文章をスラスラ読めるようになってください。そして、文章の内容について理解し、自分の考えや意見を持ちましょう。それをまとめたり発表したりしながら深めていくことが大切です。

〈家庭学習の仕方〉

「家庭学習」では「復習」に力を入れ、習ったところを音読し、ノートにまとめ直してみましよう。漢字については漢字ノートで覚えながら書くなどして、充分活用しましょう。予習では、しっかり教科書を読んでおきましょう。また、提出物は期限を守り、丁寧に仕上げるのが大事です。

さらに、国語力を確実に身につけていくためにも、できるだけ多くの文章を読み、親しみましよう。小説や物語だけでなく、説明文も読みましよう。新聞（特にコラム。朝日新聞であれば、「天声人語」、毎日新聞であれば「余録」など）を読む習慣をつけるといいいでしょう。

〈評価について〉

「はじめに」にあるように、国語では表現力や読解力、言語力を養いますが、学習内容は「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」という領域で構成されています。そしてそれぞれの領域について「関心・意欲・態度」を含め、五つの観点で次のような資料で評価を行います。

- ① ・業中の態度（集中度、発表への積極性など）
・国語に対する関心・意欲
・提出物、学習準備物、ノートの内容
- ② ・授業・テストなどによる話す力と聞く力（発表、スピーチ、発言、朗読、聞き取りなど）
- ③ ・作文、定期テスト、授業ノートにおける表現力
- ④ ・授業における理解力
・定期テストの読解分野での理解度
- ⑤ ・授業中における言語事項に関する理解度・知識
・定期テスト（小テスト）の漢字・文法分野での達成度

おわりに

以上の内容以外に、もしわからない点や疑問に思う点などがあれば、ぜひあなたの身近にいる国語の先生に尋ねてみてください。「雨垂れ石をうがつ」といいますが、テストの結果に「一喜一憂」せず、粘り強い努力を続けていってください。ではいっしょに頑張りましょう！！